

研究発表会—発表募集

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

第46回有機電子移動化学討論会

—EOC46—

主催 有機電子移動化学討論会世話人会

共催 日本化学会

会期 6月17日(金)、18日(土)

開催方式 対面式

会場 鳥取大学工学部講堂(工学部K棟)
(鳥取市湖山町南4-101) [交通] JR山陰本線「鳥取大学前」駅徒歩3分、鳥取空港徒歩20分

発表申込締切 4月28日(木)

予稿原稿締切 5月16日(月)

参加登録予約申込締切 5月31日(火)

討論主題 有機分子および分子系の電子移動化学全般、特に有機電極反応、有機金属化学・光化学・触媒化学・生命科学などにおける酸化・還元反応、機能界面を利用した電子移動の解析、有機機能材料の電子移動、導電性高分子などについての討論を行います。

発表形式 特別講演：白川英二(関西学院大)、栄長泰明(慶大)、垣内史敏(慶大)・受賞講演・口頭発表・ポスター発表

討論会は対面開催(非ハイブリッド)で準備中ですが、オンライン開催に変更の可能性があります。有機電子移動化学分野の学生教育・若手育成、産官学の研究者間の交流の場を提供するため、討論会が対面開催の場合は有機電子移動化学若手の会(6月18日(土)、19日(日))を併催しますので、詳細は下記討論会HPにてご確認ください。

発表申込方法 Web

参加登録費 一般予約5,000円、一般当日6,000円、学生予約3,000円、学生当日4,000円(いずれも日本化学会会員・非会員ともに同じ金額です)

懇親会 開催予定ですが、中止の可能性があります。

参加登録予約申込方法 下記討論会HPよりお申し込み下さい。

申込先・問合先 680-8552 鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学工学部 第46回有機電子移動化学討論会事務局 野上敏材 電話(0857)31-5179 E-mail: eoc@touche-np.org <https://touche-np.org/eoc>

第31回金属の関与する生体関連反応シンポジウム(SRM2022)

主催 日本薬学会物理系薬学部会

協賛 日本化学会

会期 6月18日(土)、19日(日)

開催方式 対面式

会場 同志社大学京田辺キャンパス(京田辺市多々羅都谷1-3) [交通] 近鉄電車「興戸」駅から徒歩15分、「新田辺」駅からバス・タクシーで10分、JR学研都市線「同志社前」駅から徒歩10分

発表申込締切 4月15日(金)

予稿原稿締切 4月22日(金)

参加登録予約申込締切 5月20日(金)

討論主題 (i) 金属イオンの細胞内輸送、(ii) 金属結合タンパク質の構造-機能相関、(iii) 金属酵素の触媒反応機構とモデル、(iv) 金属元素および化合物の生理活性や体内動態、(v) 金属元素および化合物の医療への応用、(vi) 金属イオン・金属含有タンパク質による遺伝子発現の制御

態、(v) 金属元素および化合物の医療への応用、(vi) 金属イオン・金属含有タンパク質による遺伝子発現の制御

発表形式 口頭発表・ポスター発表

発表申込方法 Web

参加登録費 日本化学会会員6,000円、共催学会会員6,000円、学生3,000円、その他7,000円(以上、事前登録)

参加登録予約申込方法 Web

申込先・問合先 SRM2022事務局・同志社大学 人見 穰 <https://srm2022.doshisha.ac.jp/index.html>

The 8th International Symposium on Metallomics (ISM-8)

主催 ISM-8 組織委員会

後援 日本化学会

会期 7月11日(月)~14日(木)

開催方式 オンライン・対面併催

会場 金沢商工会議所会館(金沢市尾山町9-13)

参加登録予約申込締切 5月18日(水)

メタロミクスに関する国際会議(The International Symposium on Metallomics; ISM)は、生命金属の計測・分析、基礎生命科学として創薬や臨床まで幅広く生命と金属・元素に関わるトピックスを国内外の研究者が議論する場となっております。さらに第8回となる今回のISM-8では、併せて企業のブース展示も行います。また、一部の発表はオンラインで行うハイブリッド形式も想定して準備を行っております。本国際会議のトピックスとして、必須微量元素の恒常性の維持機構、金属含有酵素の機能とその異常による疾病機構の解明、金属含有医薬品の創製、栄養素の代謝機構、有害微量元素の環境汚染とその人への影響評価や毒性発現の機構、これらの基礎となる元素の分析法などが挙げられ、生命金属の研究に関連した広範な成果が発表されます。多岐にわたる分野の研究者が生命金属に関する最近の進歩を持ち寄り、意見を交換し、新たな着想に結び付くような盛り多い学術集会とすることができるよう努力いたします。

発表申込方法 Web

参加登録費 一般70,000円(早期申込55,000円)、学生25,000円(早期申込15,000円)

参加登録予約申込方法 下記HPよりオンラインで登録をお願いいたします。

申込先・問合先 260-8675 千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学大学院 薬学研究院 予防薬学研究室 E-mail: ism-8@chiba-u.jp <http://www.ism-8.jp>

第25回ヨウ素学会シンポジウム

主催 ヨウ素学会(SIS)

共催 日本化学会

会期 9月13日(火)9時~17時30分

開催方式 対面式

会場 千葉大学西千葉キャンパスけやき会館(千葉市稲毛区弥生町1-33) [交通] JR「西

千葉」駅徒歩10分、京成電鉄「みどり台」駅徒歩10分

発表申込締切 6月11日(土)

予稿原稿締切 7月9日(土)

参加登録予約申込締切 8月13日(土)

討論主題 ヨウ素利用に関する基礎から応用、実用研究(物理、化学、生化学、地球化学、薬学、医学とその応用科学)

発表形式 口頭およびポスター発表(ポスター賞を設ける)ポスター発表ショートスピーチ(希望者):2分(予定)/企業展示(ただし、COVID-19の感染動向によりWeb開催になる可能性があります。随時HPをご確認ください)

SIS REPORT代金:2,000円(税込)。正会員、学生会員はSIS REPORTを無料配付 ※発表・参加申込等、詳細は下記ヨウ素学会HPに記載していますので、ご確認の上、ご対応下さい。

発表申込方法 E-mail

予稿原稿 講演予定者は所定の執筆要領に従い、A4用紙に和文抄録1.5/英文抄録0.5ページで執筆下さい。

参加登録費 [予約] 正会員1,000円、日化会会員、日薬会会員、有化会会会員、賛助会員1,000円、非会員3,000円(当日(8月14日(日))以降入金を含む) 予約+1,000円(以上すべて税込) 学生の参加費は無料

懇親会 COVID-19対策として開催しない予定ですが、適宜下記HPをご確認ください。

参加登録予約申込方法 下記HP掲載の登録用紙に記入し、E-mailの添付ファイルとして、またはFAXで送付して参加費を振込んで下さい。入金期限以降(8月14日(日)~)は当日受付扱いになります。登録用紙を送付希望の方は、事務局までご連絡下さい。

申込先・問合先 263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター内 ヨウ素学会事務局 電話/FAX(043)290-3402 E-mail: sis@fiu-iodine.org <https://fiu-iodine.org>

2022年光化学討論会

主催 光化学協会

共催 日本化学会

会期 9月13日(火)~15日(木)

開催方式 対面式

会場 京都大学桂キャンパス(京都市西京区京都大学桂) [交通] 阪急電鉄「桂」駅から京阪京都交通・市バスで「京大桂キャンパス前」下車

発表申込締切 6月6日(月)

予稿原稿締切 7月6日(水)

参加登録予約申込締切 7月6日(水)

討論主題 光化学全般(光物理化学、有機光化学、無機光化学、生体関連光化学、光エネルギー変換、人工光合成、光機能物質、発光材料、環境問題など)

発表形式 口頭発表、ポスター発表。優れた学生発表を対象とした表彰制度あり。光化学に関連したエネルギー変換、ナノサイエンスのシンポジウムを併せて行う。

WEB参加登録締切 8月29日(月)

発表時間 口頭発表20分:講演12分(液晶プロジェクターを使用)・討論7分・交代1

分、ポスター発表 50 分：100 分セッション、偶・奇番号で交代

発表申込方法 Web

参加登録費 一般（光化学協会・日本化学会会員）7,000 円（7 月 7 日（木）以降 8,000 円）、一般（主催・共催団体の非会員）10,000 円（7 月 7 日（木）以降 11,000 円）、学生（会員、非会員を問わない）5,000 円（7 月 7 日（木）以降 6,000 円）

懇親会 9 月 14 日（水）18 時 30 分を予定、京都大学桂キャンパスにて。会費：一般 6,000 円（7 月 7 日（木）以降 7,000 円）、学生 4,000 円（7 月 7 日（木）以降 5,000 円）

参加登録予約申込方法 下記 2022 年光化学討論会 HP より

申込先・問合せ 615-8510 京都市西京区京都大学桂 京都大学大学院工学研究科 阿部 電 E-mail: annualmtg2022@photochemistry.jp <https://photochemistry.jp/2022/index.html>

令和 4 年度化学系学協会 東北大会

主催 日本化学会東北支部

会期 9 月 17 日（土）、18 日（日）

開催方式 対面式

会場 岩手大学理工学部（盛岡市上田 4-3-5）〔交通〕(1)JR「盛岡」駅東口バスターミナル（11 番のりば）駅上田線「松園バスターミナル」行き「上田四丁目（NHK 前）」下車（約 15 分）徒歩 2 分、(2)JR「盛岡」駅東口バスターミナル（11 番のりば）駅桜台団地線「桜台団地」行き「理工学部東口」下車（約 15 分）徒歩 2 分、(3)JR「盛岡」駅東口からタクシー約 10 分

発表申込締切 7 月 20 日（水）

予稿原稿締切 7 月 29 日（金）

参加登録予約申込締切 8 月 19 日（金）

1. 一般講演：ポスター発表

2. 特別講演：日本化学会東北支部の推薦によるテーマで 3 件

3. 招待講演：各学協会からの推薦による現在脚光を浴びているテーマ

4. 依頼講演：各学協会からの推薦による研究者講演

5. 特別企画：化学教育研究協議会東北大会、有機化学コロキウム、高分子コロキウム、物理化学コロキウム

※口頭発表は講演者持参のコンピュータによりプロジェクトを利用。

※新型コロナウイルスの影響により、オンライン開催に変更する可能性があります。変更などの詳細は、下記東北支部 HP にてご確認ください。

発表申込方法 Web

予稿原稿 下記東北支部 HP にて案内（4 月上旬予定）

参加登録費〔事前登録〕一般 4,000 円、小・中・高教員 2,000 円、大学院生 2,000 円、高校生・高専生・学部生無料、〔当日登録〕一般 5,000 円、小・中・高教員 3,000 円、大学院生 3,000 円、高校生・高専生・学部生無料（いずれも予稿集代を含む）

懇親会 9 月 17 日（土）18 時より、ホテルメトロポリタン盛岡本館にて。

参加登録予約申込方法 下記東北支部 HP にて案内（4 月上旬予定）

申込先・問合せ 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 東北大学理学部化学科内 公益社団法人日本化学会東北支部事務局（担当 千葉 依巳）電話/FAX (022)224-3883 E-mail: nikka.tohoku@chemistry.or.jp <https://tohoku.chemistry.or.jp/>

第 32 回基礎有機化学討論会

—第 51 回構造有機化学討論会・

第 71 回有機反応化学討論会—

主催 基礎有機化学会

共催 日本化学会

会期 9 月 20 日（火）～22 日（木）

開催方式 対面式

会場 京都府総合見本市会館京都パルスプラザ（京都市伏見区竹田鳥羽殿町 5）〔アクセス〕http://www.pulseplaza.jp/access_jp.html

発表申込締切 下記 HP をご確認ください。

参加登録予約申込締切 下記 HP をご確認ください。

発表形式 口頭発表・ポスター発表

特別講演 鈴木孝紀（北大）、Rory Waterman（バーモント大）

発表申込方法 Web

参加登録費 一般会員 10,000 円（11,000 円）、学生会員 6,000 円（7,000 円）、一般非会員 13,000 円（14,000 円）、学生非会員 8,000 円（9,000 円）

※1（ ）内は参加登録予約申込締切後の金額。予稿集代込。

※2 共催・協賛の学協会の会員は、会員料金で参加できることとします。

※3 新型コロナウイルスの感染拡大状況による開催形態の変更により、参加費が変更になる可能性があります。

懇親会 下記 HP をご確認ください。

参加登録予約申込方法 下記 HP よりご登録下さい。

申込先・問合せ 611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学化学研究所 時任宣博・水畑吉行・行本万里子（担当：水畑）電話（0774）38-3203 FAX（0774）38-3209 E-mail: poc2022@boc.kuicr.kyoto-u.ac.jp <http://oec.kuicr.kyoto-u.ac.jp/~poc2022/>